

血液検査の略語について

- Q**：病院の受診時やすこやか検診で血液検査を受けたとき受け取る結果にはいろいろな項目が略語で記載されていることが多いのですが、それぞれの意味を教えてください。
- A**：検査結果の意味が分かると、ご自分の体調管理の参考にしたり、今後気をつけなければならない事項が分かりやすくてよいでしょう。検査値には複数の方法があつて、各々で基準値が異なることもありますので注意してください。

検査項目		基準値(単位)	意義	
全身	TP	血清総蛋白	6.7~8.3g/dl	全身の栄養状態・健康状態をみます
	ALB	血清アルブミン	3.5~5.5g/dl	
心臓・筋肉	CPK(CK)	クレアチニンキナーゼ	男30~190IU/L 女20~150IU/L	骨格筋・脳・心筋に多く含まれる酵素。これらの組織が壊れると血液中に増加します
	CK-MB		18 IU/L以下	CKのアイソザイムMBは主として心筋由来。心筋梗塞などで増加します
肝臓・胆管	GOT	AST	10~30IU/L	肝臓・心臓の組織に多く含まれる酵素。これらの組織が壊れると血液中に増加します
	GPT	ALT	5~42IU/L	
	LDH(LD)	乳酸脱水素酵素	100~190IU/L	肝臓・心臓・肺・血液・骨格筋に多く含まれる酵素。これらの組織が壊れると血液中に増加します
	ALP	アルカリフォスファターゼ	84~280IU/L (GCSS/SSCC法)	肝臓・胆管・骨・胎盤・小腸に多く含まれる酵素。これらの組織が壊れると血液中に増加します
	γ-GTP	ガンマGTP	男0~40IU/L 女0~30IU/L	肝臓・胆道に障害があると高値になります。薬剤性・アルコール性肝障害でも高値になります
	T-Bil	総ビリルビン	0.2~1.1mg/dl	黄疸の指数です。肝臓・胆嚢・胆管に障害があると黄疸になり数値も高値になります
	D-Bil	直接ビリルビン	0.1~0.5mg/dl	
Ch	コリンエステラーゼ	0.6~1.2ΔPH (柴田・高橋法)	肝臓に多く含まれています。肝機能障害・農薬中毒で低下します	
膵臓	AMY	アミラーゼ	55~245U/L (酵素法)	肝臓・唾液腺に多く含まれています。膵炎・流行性耳下腺炎などで高値になります
	P-AMY	膵型アミラーゼ	19~57IU/L (酵素法)	急性膵炎・慢性膵炎などで高値になります
腎臓	BUN	尿素窒素	10~15mg/dl	腎臓機能検査です。これらは体の老廃物の1つで、腎臓が正常であれば尿に出ますが、腎臓の排泄機能が低下すると血液中に増加します
	CRE(CR)	クレアチニン	男1~1.39mg/dl 女0.8~1.1mg/dl	
	UA	尿酸	2.6~6.9mg/dl (治療中5.0~6.0)	
糖尿病	HbA _{1c}	ヘモグロビンエーワンシー	4.3~5.8%	糖尿病の経過観察の指標として有用です。約1カ月間の血糖コントロールの指標になります
	空腹時血糖		65~110mg/dl	血液中のブドウ糖のことです。数値の高低で糖尿病の有無を調べます

検査項目			基準値(単位)	意義	
電 解 質	Na	ナトリウム	136~148mEq/ml	血中濃度の平衡を維持・調節することによって水分代謝・浸透圧などの調節をして体細胞の正常な代謝に寄与しています	
	K	カリウム	3.5~5.3mEq/ml		
	Cl	クロール	96~108mEq/ml		
電 解 質	Ca	カルシウム	8.5~10.2mg/dl	筋肉や神経の興奮性やある種の内分泌の働きを調節しています。また骨の形成にも関与しています	
	IP	無機リン	2.5~4.5mg/dl	全ての細胞の代謝に欠かせない無機質です。骨の代謝に重要です	
脂 質	TC	総コレステロール 中性脂肪 (トリグリセリド)	220mg/dl未満	高血圧や動脈硬化の兆候や進み具合を見る検査です。T-CHOは肝臓で合成されます。TGは食事の影響を受けやすいです	
	TG		30~150mg/dl		
	HDL	HDLコレステロール	40mg/dl以上		善玉コレステロールと呼ばれ動脈硬化の予防には必要なコレステロールです
脂 質	LDL	LDLコレステロール	140mg/dl未満	悪玉コレステロールと呼ばれ、動脈硬化症起因性コレステロールです	
貧 血	Fe	血清鉄	男55~190 µg/dl 女45~145 µg/dl	Feは血色素に必要な成分で、不足するとTIBC・UIBCが高値になり貧血を起こします。肝臓疾患・慢性疾患ではこの逆になります	
	TIBC	総鉄結合能	男250~380 µg/dl 女250~450 µg/dl		
	UIBC	不飽和鉄結合能	男95~325 µg/dl 女105~370 µg/dl		
炎 症	CRP	C反応性蛋白	0.3mg/dl以下 (測定法により異なる)	炎症性マーカーで全身のどこかの組織に炎症があると高値になります	
末 梢 血	WBC	白血球数	4千~9千/µl	細菌やウイルス等が体内に侵入した場合に高値になります。血液・造血器の指標に用いられます	
	RBC	赤血球	男410~530万/µl 女380~480万/µl	貧血の有無や種類がわかります。この3つからMCV、MCH、MCHCが求められます	
	Hb	ヘモグロビン濃度	男14~18 g/dl 女12~16 g/dl		
	Ht	ヘマトクリット値	男40~48% 女36~42%		
	末 梢 血	MCV	平均赤血球容積	81~99fL	貧血の種類の判定に用いられます
		MCH	平均赤血球 ヘモグロビン量	26~32pg	
		MCHC	平均赤血球 ヘモグロビン濃度	32~36%	
	末 梢 血	PLT	血小板	10~40万/µl	血小板は止血の働きをします

*基準値は検査項目により、性別・年齢・食事・測定法によって差がありますのでご注意ください。

【参考資料】

- (1) medicina、36、11 (増刊号)、1999